


<p>学校教育目標 「生き生きした 活力のある子」</p> <p> 学校だより</p> <p>さいたま市立大牧小学校</p>	<p>平成29年度 7月号 No.404 平成29年6月30日 発行</p>	<p>7月の目標</p> <p>◎ものを大切にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整理整頓をしよう。 ・持ち物に名前を付けよう。
--	--	--

子どもの自立

校長 澤田直樹

7月7日は、七夕です。廊下に願い事の書かれた色とりどりの短冊が、子どもたちの思いをのせて下がっています。願い事を見ると「おじいちゃんおばあちゃんが健康で過ごせますように」「持久走で5位以内にはいれますように」「将来小学校の先生になれますように」などと書かれており、うれしい気持ちになるとともにそれぞれの願いごとのかなうことを祈っています。最近、星空を観察する機会に恵まれました。1つは、4年生のプラネタリウム見学です。さいたま市青少年宇宙科学館でさいたま市の星空を観察しました。日頃見ることのできない夜空一杯の星を見ることができました。もう1つは、5年生の自然の教室（たかつえ）でのナイトハイキングとキャンプファイヤーでの満天の星空です。暗闇に浮かぶ星は、とても感動的でした。闇夜に浮かぶ国際宇宙ステーションについても教えてもらい、遠く七夕の織姫と彦星にも思いをはせました。



自然の教室（たかつえ）の3日間では、「自然」「責任」「感謝」の3つをキーワードにここでしかできない体験を五感を通して心で感じて欲しいことを話しました。実際に自分たちで火を起こして野外炊飯でカレーをつくり、ナイトハイキング、高倉山登山、いわなさばき、焼き板、キャンプファイヤー、ネイチャークラフト等盛りだくさんの活動をしました。

最初、慣れない集団宿泊生活に戸惑っていた子どもたちも時を重ねるごとに、上手にできるようになっていきました。

特に、火おこしでは、最初は薪を重ねるだけでうまく火が回りませんでした。試行錯誤やうまくいったところのグループからヒントを得ながら空気の通り道を意識したり、燃えやすい木をうまく使ったりと次第にできるようになっていきました。煙にむせびながら、苦勞して作ったカレーのおいしさ、「全員が絶景ポイントまで登り「ヤッホ」と叫ぶ」を目標に声を掛けあって頑張った高倉山登山、山の上から見る景色は、絶景ポイントにふさわしい素晴らしい眺めでした。また、「いわなさばき」では、命をいただくことへの感謝の気持ちを感じることができました。特に、炎を真ん中にして楽しく踊ったキャンプファイヤーでの一体感、そして、キャンドルサービスでの幻想的なろうそくのあかりは、きつと心の中に大切な思い出として深く刻まれたことと思います。

5年生の自然の教室（たかつえ）を引率して、活動の中で子どもたちが大きく成長していく姿を感じられたことや友と協力しながら助け合う場面を多く見ることができたことをとても嬉しく思いました。

改めて、子育てでは、子どもの自立をめざして子どもたち自身に任せ、責任をもって活動させ、見守りながら困難を乗り越えさせることの大切さを感じました。これからも、それぞれの学年で、様々な活動を通して子どもの自立に向け努力してまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

※市内のどこか一か所でも「震度5弱」以上の地震が観測された場合には、「引き渡し」を実施します。学校からの連絡を待たず、来校をお願いします。